

この度は、CentreCOM 3612Lをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。 このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただ きたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。 最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 1.3PL0

2 本バージョンで追加された項目

本バージョンでは、前バージョン(1.2PL0)より下記の項目が追加されました。

2.1 「SNMP マネージャアドレス」オプション設定数の追加

参照 ユーザーマニュアル 6-21 ページ「ネットワークパラメータ」

Trap メッセージを受け取る SNMP マネージャを 4 つまで設定できるように、「SNMP マネージャア ドレス」オプションが 3 つ追加されました。

場所:

「メインメニュー」 「A:管理情報(Administration)」 「N:ネットワークパラメータ」 オプション名:

「E~G:SNMPマネージャアドレス」



注意

1.2PL0**以前**のソフトウェアがインストールされている本製品に対して、1.3PL0**以降**のソフトウェア をダウンロードした場合、ダウンロード前のSNMPマネージャアドレスの設定は引き継がれません ので、再度設定しなおしてください。

「ネットワークパラメータ」画面に「E ~ G: SNMP マネージャアドレス」オプションが追加された ため、ユーザーマニュアルに記述されている、先頭の文字が「E ~ J」のオプションは、それぞれ先 頭の文字が「I ~ N」へと変更されます。また、ソフトウェアバージョン 1.0PL1 で追加された「<u>E</u>: Cold Start Trap 遅延時間(秒)」オプションは「<u>H</u>: Cold Start Trap 遅延時間(秒)」となります。



- 2.2 SNMP RFC1213 MIB オブジェクト[SystemUpTime]の値が正しく表示されない場合があり ましたが、これを修正しました。
- 3 バージョン 1.2PL0 で追加された項目

ソフトウェアバージョン1.0PL1から1.2PL0へのバージョンアップにおいて、下記の項目が追加されました。

3.1 ポートステータス「MAC アドレス」表示項目の追加

2 ユーザーマニュアル 6-4 ページ「2 ポートステータス」

マネージメントソフトウェアに、各ポートで検出された最新のMACアドレスを保持し、表示する機能が追加されました。

場所:

「メインメニュー」 「P:ポートステータス」

項目名:

「MACアドレス」

内容:

ポートごとに最後に検出された MAC アドレスを表示します。

ポートで新しい MAC アドレスが検出されるたびに、その内容が動的に反映されます。

🍓 03612L -	ハイハ*ー ターミナル			_ 🗆 ×
ファイル(E) 編	集(E) 表示(⊻) 通信	₩ <u>C)</u> 転送(T)	∧ルブ(<u>H</u>)	
	3 3 - 6			
		ポート	ステータス	
ボート	MAC アドレス	リンク	ステータス	極性
1: 2: 3: 4: 5: 6: 7: 8: 9: 10: 11: 12: 13:	00A0C9 5AB333 08002B E7058B -	Online Offline Offline Online Offline Offline Offline Offline Offline Offline	Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal	Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal Normal
変更したい 又、変更 -> <u>-</u>	ヽポートナンバーを 『がない場合は、リ	入力して下さ ターンキーを	い 入力して下さい	
 接続 1:44:45	自動検出	600 8-N-1	SCROLL CAPS NUM	

注意

ポート 13(AUI ポート)の「MAC アドレス」は表示されません。



3.2 Hub 統計情報 / 個々のポート情報「ソースアドレスの変更」項目の追加

図 ユーザーマニュアル 6-9 ページ「3 Hub 統計情報」

6-14 ページ「4 個々のポート情報」

マネージメントソフトウェアに、本体全体、または各ポートで検出されたMACアドレスの変更回数 をカウントし、表示する機能が追加されました。

場所:

「メインメニュー」 「H : Hub 統計情報」 「メインメニュー」 「H : Hub 統計情報」 「H : Hub 全体」 「メインメニュー」 「I : 個々のポート情報」

項目名/オプション名:

「ソースアドレスの変更」/「SO:ソースアドレスの変更」

内容:

本体全体、またはポートが最後に検出したMACアドレスと異なるMACアドレスを検出した回数 をカウントして、グラフ表示します。

過去に一度検出したMACアドレスでも、最後に検出したMACアドレスと異っていれば、カウントされます。

「メインメニュー」	「H:Hub 統計情報」(本体全体	ポート別)
-----------	-------------------	-------

🍣 03612L - 1141°	- ターミナル					_ 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E)	表示(⊻) 通	恿信(<u>C</u>) 転送(<u>T</u>)	ヘルフ*(<u>H</u>)			
	<u>, D</u>					
オブションを遵	観して下さい	A);				
H: Hub 全 I: 個々の	体 ポート情報					
TO: トータ G: Good フ B: Bad フ C: CRCエ A: アライ R: ランク TR: 送信二 PO: ボート	1 ルフレーム 1 ルーム クリレーム デメントム ブフレーム 1 フリジジョ 1 コリジジョ	_				
LA: レート SH: ショー J: ジャル PA: パーテ SO: ソーク Z: Hub の: ->_	(Late)ゴリシ トイベント イーロックア・ イション デドレスの3 統計カウンタ	ジョン ップ 変更 のリセット				
 接続 2:35:08	自動検出	9600 8-N-1	SCROLL	CAPS	IM ++v7°Fv	▼ 印刷II //



🏶 C361 2L – ለ
_ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(I) ヘルブ(H)
ソースアドレスの変更
ポート 1: 1695775 ##################################
$\begin{array}{cccc} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \end{array} \\ \\ \\ \end{array} \\ \\ \\ \end{array} \\ \\ \\ \end{array} \\ \\ \\ \\ \end{array} \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \\ \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \\$
$\vec{x} - \mathbf{k} \cdot 5$: 1 $\vec{x} - \mathbf{k} \cdot 6$: 0
$\vec{x} - \mathbf{k} \cdot 7$: 0 $\vec{x} - \mathbf{k} \cdot 8$: 0
$\vec{x} = \vec{k} \cdot \vec{9}$: $\vec{0}$ $\vec{x} = \vec{k} \cdot \vec{10}$: $\vec{0}$
$\vec{x} = \vec{k} \cdot 11: 0$ $\vec{x} = \vec{k} \cdot 12: 0$
(前回のメニューに戻りたい場合は、リターンキーだけを入力して下さい。)
接続 2:35:53 自動検出 9600 8-N-1 SCROLL CAPS NUM キャプチャ 印刷エコー

「メインメニュー」 「H:Hub 統計情報」 「H:Hub 全体」(本体全体 項目別)





「メインメニュー」 「!:個々のポート情報」(ポート 項目別)

🎨 C3612L – ለイパー ターミナル					- 🗆 ×
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通	i信(<u>c</u>) 転送	(T) ヘルフ [*] (H)			
	ſ				
トータルフレーム: Good フレーム: Bad フレーム: ORCエラー: アライメントエラー: ラントフレーム: ロングフレーム: ポートコリジョン: レート(Late)コリジョン: ジャバーロックアップ: データレートミスマッチ: ソースアドレスの変更:	1914498 1914476 22 4 0 12707 0 92 0 0 0 1134046	ボート 1 ################## ################	***	****	-
接続 0:01:34 自動検出	9600 8-N-1	SCROLL	CAPS NUM	キャフ デャ 印刷エコ	

3.3 **「他システムへの** ping 」オプションの追加

Main Stration)」

マネージメントソフトウェアのメニュー内に、Pingプログラムを使用して、ネットワーク上の他の システムの通信テストを行うためのオプションが追加されました。

場所:

「A:管理情報(Administration)」

オプション名:

「S:他システムへの ping」

内容:

指定したシステムに対して、ICMP エコーリクエストを5回まで送信します。





設定方法:

Sを入力して回キーを押すと、次の画面が表示されます。

同一ネットワーク上のシステムをIPアドレス、またはEthernetアドレス(MACアドレス)で指定 します。

すぐに、ICMPエコーリクエストの送信が開始され、結果が画面表示されます。

テストが終了するすると、画面に「Ping 完了」と表示されます。

🦓 C3612L – ለብለት ቃ-ミナル	_ 🗆 X
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 通信(<u>C</u>) 転送(<u>T</u>) ヘルブ(<u>H</u>)	
相手先のシステムは、IPアドレス(128.2.3.4), 又は、Ethernetアドレス(0000F4_123456)によって識別されなければなりません。	
_>	



4 バージョン 1.0PL1 で追加された項目

ソフトウェアバージョン 1.0PL0 から 1.0PL1 へのバージョンアップにおいて、下記の項目が追加されました。

4.1 「Cold Start Trap 遅延時間」設定オプションの追加

②照 ユーザーマニュアル 6-21 ページ「ネットワークパラメータ」

マネージメントソフトウェアのメニュー内に、Cold Start Trap遅延時間を設定するためのオプションが追加されました。

場所:

「メインメニュー」 「A:管理情報(Administration)」 「N:ネットワークパラメータ」 オプション名:

「E: Cold Start Trap 遅延時間(秒)」

内容:

本体を起動(リセット)してから、Cold Start Trapを送信するまでの時間(秒)を設定します。 Cold Start Trapは、電源ケーブルを抜き差しするなどして、本体を起動したときに送信される Trapメッセージです。

本製品を他のスイッチとカスケード接続している場合、本製品を起動し、他のスイッチとリンク が確立した直後、Cold Start TrapがSNMPマネージャまで正しく送信されないことがあります。 これを回避するために遅延時間を設定し、Cold Start Trapの送信を設定した時間内まで遅らせ ることができます。

🎨 03612L - 11/1°-	ターミナル					_ 🗆 ×
ファイル(<u>E</u>) 編集(<u>E</u>)	表示(⊻) 通	.信(<u>C</u>) 転送(<u>T</u>)	ヘルフ*(<u>H</u>)			
023		ľ				
オブションを選	択して下さい	ν:				
A: Ip アド B: Subnet m C: ゲートウ	レス: nask: 'ェイ アドレ	Null Null マス: Null	(現在まで設 (現在まで設 (現在まで設	定されて 定されて 定されて	ません) ません) ません)	
D: SNMP マ E: Cold Sta	ネージャアト art Trap 遅	["] レス: Null 延時間(秒): O	(現在まで設	定されて	ません)	
F: Get Comm G: Set Comm H: Trap Com	nunity スト nunity スト nmunity スト	リング: Null リング: Null ・リング: Null	(現在まで設 (現在まで設 (現在まで記	定されて 定されて 役定されて	ません) ません) こません)	
I: Download	d Password:	жжжж	жж			
J: Location K: Contact	n: :	Null Null	(現在まで設 (現在まで設	定されて 定されて	ません) ません)	
_>						
 接続 0:03:25	自動検出	9600 8-N-1	SCROLL	CAPS	JUM ^{キャフ°チ}	▼ FD局III-



設定方法:

Eを入力して回キーを押すと、次の画面に「現在の遅延時間」が表示されます。 デフォルトは「0」で、Cold Start Trapの送信を遅延する機能は無効となっています。 機能を有効とするには、遅延時間(秒)を1~80の範囲で入力して、回キーを押します。 設定はただちに有効となります。



注意

「ネットワークパラメータ」画面に「E: Cold Start Trap 遅延時間(秒)」オプションが追加された ため、ユーザーマニュアルに記述されている、先頭の文字が「E ~ J」のオプションは、それぞれ先 頭の文字が「F ~ K」へと変更されます。